

# 令和6年度 事務事業評価表 ( 令和5年度実績 )

<b>事務事業名</b>		上下水道事業企画・計画業務（下水）			<b>担当所属</b>	上下水道局企画調整課		
基本情報	<b>分野</b>	7 生活基盤		<b>事業期間</b>	～			
	<b>基本施策</b>	4 水道の安定供給と下水道の充実		<b>会計種別</b>	下水道事業会計			
	<b>推進施策</b>	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化		<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>		
事業概要	<b>対象</b>	管渠や浄化センターなどすべての下水道施設						
	<b>意図</b>	下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新を行う。						
	<b>成果</b>	下水道の持続的な機能確保を図る。						
	<b>手段</b>	下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画に基づいて効率的に下水道施設の維持管理や更新を行う。						
指標	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R3年度実績</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度実績</b>	<b>R6年度見込</b>
		計画書策定実施数	<b>目標値</b>	業務	1	1	0	3
			<b>実績値</b>	業務	0	1	1	-
			<b>目標達成度</b>	%	0.0	100.0	-	-
コスト	(単位：千円)		<b>令和2年度 決算</b>	<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 決算</b>	<b>令和6年度 予算</b>	
	<b>トータルコスト</b>		7,155	7,103	22,001	16,070	94,540	
	<b>事業費</b>		0	0	14,795	8,800	80,000	
	<b>特定財源</b>	<b>国庫支出金</b>	0	0	5,000	4,400	12,000	
		<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	
		<b>受益者負担</b>	0	0	0	0	0	
		<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
	<b>一般財源</b>		0	0	9,795	4,400	68,000	
	<b>人件費合計</b>		7,155	7,103	7,206	7,270	14,540	
<b>正職員</b>		7,155	7,103	7,206	7,270	14,540		
<b>正職員以外</b>		0	0	0	0	0		
<b>(事業費集計済分)</b>		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	<b>開始時の周辺環境</b>							
	人口減少社会の到来、施設の老朽化							
	<b>現状の周辺環境</b>							
人口減少、物価高騰、施設の老朽化								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
人口減少等に伴う有収水量の減少が顕著、施設更新需要の増大、下水道関係技術者の確保が困難								
評価	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	下水道施設の機能向上と健全度を維持するために必要な業務である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	B					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	令和6年度末までに完遂しなければならない業務の一部を前倒しで実施した。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	B					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	更新工事の進捗状況により計画の見直しを行っており、国の交付金を活用しながら適切に取り組んでいる。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	B					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A							
改革案	<b>今後の実施方向性</b>	維持	他の業務とのバランスを考慮し、計画的に施設の更新を進めていく。将来的には、官民連携を含め着実に計画が実施できる方法を検討する。					
	<b>成果方向性</b>	成果維持						
	<b>コスト方向性</b>	コスト増大						
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>							
事務事業が増大する中、人員の確保が課題となっており民間の技術力を有効的に活用することで、効率的に業務が遂行できる。								

令和6年度 事務事業評価表 ( 令和5年度実績 )

事務事業名		上下水道事業企画・計画業務 (上水)				担当所属	上下水道局企画調整課		
基本情報	分野	7 生活基盤			事業期間	～			
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実			会計種別	水道事業会計			
	推進施策	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化			実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	管路・浄水場等すべての水道施設							
	意図	安全で安定した水道水を供給する。							
	成果	安全で強靱な水道の持続に資することとなり、将来にわたり安定的な事業経営を実現する。							
	手段	「周南市水道事業ビジョン」「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき水道施設の長寿命化・耐震化計画を策定、見直しを行う。							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		計画書策定実施数	目標値	業務	2	2	2	1	
			実績値	業務	2	2	2	-	
			目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-	
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		14,310	14,206	21,618	21,810	14,540		
	事業費		0	0	0	0	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		0	0	0	0	0		
	人件費合計		14,310	14,206	21,618	21,810	14,540		
正職員		14,310	14,206	21,618	21,810	14,540			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	2.00	2.00	3.00	3.00	2.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境 人口減少社会の到来、施設の老朽化								
	現状の周辺環境 人口減少、物価高騰、施設の老朽化、水道事業が厚生労働省から国土交通省・環境省へ移管								
	今後の予想される周辺環境 人口減少等に伴う給水人口及び給水量の減少が顕著、施設更新需要の増大、水道関係技術者の確保が困難								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		B	「周南市水道事業ビジョン」「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき、水道施設の長寿命化・耐震化工事を実施し強靱化が図れている。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A					
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A					
	有効性	4. 計画の実施状況		A	「周南市水道事業施設整備基本計画」および「財政計画」との整合性を図るため、事業計画ヒアリングを開催した。(R5.8) 水道法改正に伴い「周南市水道施設点検方針」を策定した。(R5.10)				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		A					
		6. 上位施策への貢献度		A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	国・県の動向を注視しながら、局内で整合をとりながら適切に実施している。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A								
改革案	今後の実施方向性	目的 (対象・意図) 変更	P D C A手法により、適切な時期を定めてフォローアップを実施する。						
	成果方向性	成果上昇							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)								

令和6年度 事務事業評価表 ( 令和5年度実績 )

事務事業名		水質安全強化対策			担当所属	上下水道局企画調整課			
基本情報	分野	7生活基盤		事業期間	～				
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実		会計種別	水道事業会計				
	推進施策	1 安全な給水の確保		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	管路・浄水場等すべての水道施設							
	意図	安全で安定した水道水を供給する。							
	成果	安全で強靱な水道の持続に資することとなり、将来にわたり安定的な事業経営を実現する。							
	手段	「水安全計画」の適正な運用・見直しにより安全性の強化を図る。							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		計画策定及び運用実施数		目標値	業務	0	0	2	1
				実績値	業務	0	0	2	-
				目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		0	0	0	21,810	14,540		
	事業費		0	0	0	0	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		0	0	0	0	0		
	人件費合計		0	0	0	21,810	14,540		
正職員		0	0	0	21,810	14,540			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.00	3.00	2.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境 人口減少社会の到来、施設の老朽化								
	現状の周辺環境 人口減少、物価高騰、施設の老朽化、水道事業が厚生労働省から国土交通省・環境省へ移管								
	今後の予想される周辺環境 人口減少等に伴う給水人口及び給水量の減少が顕著、施設更新需要の増大、水道関係技術者の確保が困難								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		B	「水安全計画」の遂行により水道水の安全性が確保できている。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A					
	有効性	4. 計画の実施状況		A	浄水場におけるクリプトスポリジウム対策について、今後の施設改修方針を協議した。「水安全計画」が適正に運用できているかの検証と改訂内容についてレビューを実施した。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A					
		6. 上位施策への貢献度		A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	自然環境、生活環境の変化に適宜対応し、局内で協議を進めながら水道水の安全確保に努めている。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A								
改革案	今後の実施方向性	目的（対象・意図）変更	水質に関する変化が生じた場合には、迅速な対応をする。						
	成果方向性	成果上昇							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								